

## ○調査結果の概要

### 1. 貿易企業の概要

#### ・貿易実績のある企業 234 社

2023 年(暦年)における輸出企業は 187 社(前年 184 社)、輸入企業は 104 社(同 111 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 57 社(同 61 社)で貿易企業は 234 社(同 234 社)となった。

所在地別では、松江市が 61 社と最も多く、続いて出雲市 59 社、浜田市 25 社の順となった。

### 2. 貿易実績

#### ・島根県の 2023 年貿易額は 5,584 億円

県内企業の 2023 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 5,584 億円(前年 6,349 億円)であり、前年比で 87.9%となった。

輸出額 3,112 億円(前年 3,485 億円)に対し、輸入額は 2,472 億円(前年 2,865 億円)となっており、641 億円の輸出超過(前年は 620 億円の輸出超過)となった。

#### (1) 輸出の実績

#### ・輸出額は 3,112 億円 輸出全体の 77.2%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2023 年(暦年)の県内企業の輸出額は 3,112 億円(前年 3,485 億円)であり、対前年比 89.3%となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 2,402 億円(構成比 77.2%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 467 億円(同 15.0%)となっており、両品目で輸出全体の 92.2%を占めた。地域別では、アジアが 564 億円(構成比 18.1%)、ヨーロッパが 380 億円(同 12.2%)、北アメリカが 142 億円(同 4.6%)となっており、この三地域で全体の 34.9%を占めている。国別輸出額でみるとドイツが 241 億円(構成比 7.7%)、中国が 136 億円(同 4.4%)、韓国が 125 億円(同 4.0%)、アメリカ合衆国が 121 億円(同 3.9%)となっている。

輸出形態では、直接輸出が 506 億円(構成比 16.3%)、間接輸出が 2,606 億円(同 83.7%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 24.8%、次いで関東地域が 7.4%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、境港が 0.3%、浜田港が 0.1%となっている。

## (2) 輸入の実績

### ・輸入額は2,472億円 輸入全体の58.7%が鉱物性生産品

2023年(暦年)の県内企業の輸入額は2,472億円(前年2,865億円)であり、対前年比86.3%となった。

輸入を品目別にみると、「鉱物性生産品」が1,450億円(構成比58.7%)と最も多く、次いで「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が305億円(同12.3%)、「卑金属及び同製品」が292億円(同11.8%)となっている。地域別では、アジアが932億円(構成比37.7%)と最も多く、オセアニアが841億円(同34.0%)、北アメリカが339億円(同13.7%)と続いている。国別輸入額で見ると、オーストラリアが837億円(構成比33.8%)、中国が454億円(同18.4%)、インドネシアが302億円(同12.2%)、カナダが268億円(同10.8%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が1,756億円(同71.1%)、間接輸入が715億円(同28.9%)となっており、直接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは三隅港で全体の62.6%を占めた。なお、その他の山陰地方の港の荷揚げは、境港3.8%、浜田港3.3%となっている。

## 3. 海外直接投資及び外国企業との提携

### ・投資先はタイが11件、提携先は中国が18件

海外への投資案件は全体で23社31件となっており、投資先を国別にみると、タイが11件となっており、地域別で見るとアジア全体で90.3%を占めている。

形態別では、独資16件、合弁8件、駐在員事務所5件、支店1件、その他が1件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で27社64件あり、提携先を国別にみると、中国が18件(構成比28.1%)と最も多く、次いで韓国とベトナムがともに5件となっている。地域別にみると、アジアが49件で76.6%を占め、ヨーロッパが10件で15.6%、北アメリカが4件で6.3%となっている。

形態別では、販売代理店契約35件、委託加工貿易17件、技術供与6件となっている。